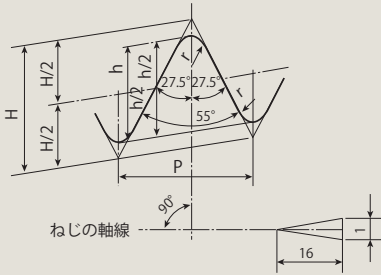


「管用テーパねじ」

JIS B 0203 (1999) より抜粋

基準山形及び基準寸法

●テーパおねじ及びテーパめねじに対して、適用する基準山形



太い実線は、基準山形を示す。

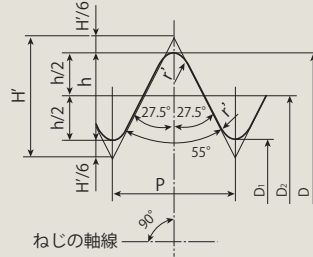
$$p = \frac{25.4}{n}$$

$$H = 0.960237P$$

$$h = 0.640327P$$

$$r = 0.137278P$$

●平行めねじに対して適用する基準山形



太い実線は、基準山形を示す。

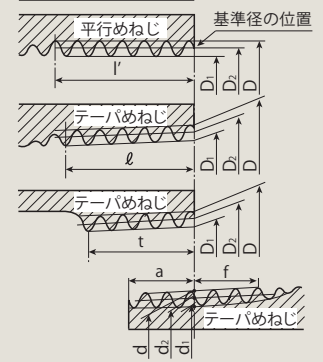
$$p = \frac{25.4}{n}$$

$$H' = 0.960491P$$

$$h = 0.640327P$$

$$r' = 0.137329P$$

●テーパおねじテーパめねじ又は平行めねじとのほめあい



単位: mm

ねじの呼び (1)	ねじ山				基準径			基準径の位置			平行めねじの D ₂ 及びD ₁ の許容差	有効ねじ部の長さ (最小)				配管用炭素鋼 銅管の寸法 (参考)				
	ねじ 山数 [25.4 mm につき n]	ピッチ P (参考)	山の 高さ h	丸み r 又は r'	おねじ			おねじ		めねじ		基準径の位置から大径側にかけて f	不完全ねじ部がある場合		不完全ねじ部がない場合			外径	厚さ	
					外径 d	有効径 d ₂	谷の径 d ₁	管端から		管端部			テーパ めねじ	平行 めねじ	テーパめねじ 平行めねじ					
								基準の長さ a	軸線方向の許容差 b											軸線方向の許容差 c
R ¹ / ₁₆	28	0.9071	0.581	0.12	7.723	7.142	6.561	3.97	±0.91	±1.13	±0.071	2.5	6.2	7.4	4.4	—	—			
R ¹ / ₈	28	0.9071	0.581	0.12	9.728	9.147	8.566	3.97	±0.91	±1.13	±0.071	2.5	6.2	7.4	4.4	10.5	2.0			
R ¹ / ₄	19	1.3368	0.856	0.18	13.157	12.301	11.445	6.01	±1.34	±1.67	±0.104	3.7	9.4	11.0	6.7	13.8	2.3			
R ³ / ₈	19	1.3368	0.856	0.18	16.662	15.806	14.950	6.35	±1.34	±1.67	±0.104	3.7	9.7	11.4	7.0	17.3	2.3			
R ¹ / ₂	14	1.8143	1.162	0.25	20.955	19.793	18.631	8.16	±1.81	±2.27	±0.142	5.0	12.7	15.0	9.1	21.7	2.8			
R ³ / ₄	14	1.8143	1.162	0.25	26.441	25.279	24.117	9.53	±1.81	±2.27	±0.142	5.0	14.1	16.3	10.2	27.2	2.8			
R1	11	2.3091	1.479	0.32	33.249	31.770	30.291	10.39	±2.31	±2.89	±0.181	6.4	16.2	19.1	11.6	34	3.2			
R1 ¹ / ₄	11	2.3091	1.479	0.32	41.910	40.431	38.952	12.7	±2.31	±2.89	±0.181	6.4	18.5	21.4	13.4	42.7	3.5			
R1 ¹ / ₂	11	2.3091	1.479	0.32	47.803	46.324	44.845	12.7	±2.31	±2.89	±0.181	6.4	18.5	21.4	13.4	48.6	3.5			
R2	11	2.3091	1.479	0.32	59.614	58.135	56.656	15.88	±2.31	±2.89	±0.181	7.5	22.8	25.7	16.9	60.5	3.8			
R2 ¹ / ₂	11	2.3091	1.479	0.32	75.184	73.705	72.226	17.46	±3.46	±3.46	±0.216	9.2	26.7	30.1	18.6	76.3	4.2			
R3	11	2.3091	1.479	0.32	87.884	86.405	84.926	20.64	±3.46	±3.46	±0.216	9.2	29.8	33.3	21.1	89.1	4.2			

注 (1) : この呼びは、テーパおねじに対するもので、テーパめねじ及び平行めねじの場合は、Rの記号をRc又はRpとする (*参照)。

注 (2) : テーパのねじは基準径の位置から小径側に向かっての長さ、平行めねじは管又は管継手端からの長さ。

備考 1. ねじ山は中心軸線に直角とし、ピッチは中心軸線に沿って測る。

備考 2. 有効ねじ部の長さとは、完全なねじ山の切られたねじ部の長さで、最後の数山だけは、その頂に管又は管継手の面が残っていてもよい。また、管又は管継手の末端に面取りがしてあっても、この部分を有効ねじ部の長さを含める。

備考 3. a、f又はtがこの表の数値によりがたい場合は、別に定める部品の規格による。

(*) 管用テーパねじの種類は、管用テーパおねじ、管用テーパめねじ及び管用平行めねじとする。

この管用平行めねじは、管用テーパおねじに対して使用するもので、JIS B 0202に規定する管用平行めねじとは寸法許容差が異なる。